

2

次の取引を普通仕訳帳および特殊仕訳帳としての当座預金出納帳と売上帳に記入し、総勘定元帳と売掛金元帳・買掛金元帳に転記しなさい。

- i 総勘定元帳への合計転記は、特殊仕訳帳から直接おこなうこと。
- ii 特殊仕訳帳は、月末に締め切るものとする。
- iii すでに記入してある取引も転記すること。
- iv 総勘定元帳・売掛金元帳・買掛金元帳の記入は、日付と金額を示せばよい。
- v ほかに特殊仕訳帳として、現金出納帳と仕入帳を用いている。
- vi 普通仕訳帳の小書きは省略する。

取 引

- 1/月19日 出雲商店に対する買掛金 ¥630,000 を小切手を振り出して支払った。
- 23日 姫路商店に次の商品を売り渡し、代金は同店振り出しの小切手で受け取り、ただちに当座預金とした。
 B 品 500個 @ ¥1,800 ¥900,000
- 26日 倉敷商店に次の商品を売り渡し、代金は掛けとした。
 A 品 400個 @ ¥1,650 ¥660,000
- 28日 倉敷商店に売り渡した上記商品のうちに品違いがあったので、次のとおり返品された。
 A 品 20個 @ ¥1,650 ¥33,000
- 30日 営業用の車両 ¥1,500,000 を購入し、代金は小切手を振り出して支払った。なお、購入の際にかかった付随費用 ¥82,000 は、翌月に支払うこととした（取引の全部をいったん普通仕訳帳に記入する）。

3

次の各問いに答えなさい。

(1) 支店会計が独立している金沢商店（個人企業）の下記の資料によって、次の金額を計算しなさい。

- a. 付記事項整理後の本店貸借対照表の買掛金
- b. 本支店合併後の当期純利益（アの金額）

資 料

本店 貸借対照表
令和〇年12月31日

資 産	金 額	負債・純資産	金 額
現 金	406,000	支 払 手 形	()
当 座 預 金	2,178,000	買 掛 金	()
売 掛 金	1,485,000	資 本 金	4,890,000
商 品	940,000	当 期 純 利 益	815,000
備 品	()		
支 店	734,000		
	()		()

支店 貸借対照表
令和〇年12月31日

資 産	金 額	負債・純資産	金 額
現 金	248,000	支 払 手 形	963,000
当 座 預 金	()	買 掛 金	()
売 掛 金	527,000	本 店	488,000
商 品	()		
備 品	320,000		
当 期 純 損 失	73,000		
	()		()

付 記 事 項

- ① 支店は、本店が送付していた商品 ¥86,000（原価）を受け取った。
- ② 支店で本店の買掛金 ¥130,000 を現金で支払っていたが、本店は、未処理であった。
- ③ 本店の従業員の旅費 ¥30,000 を支店が現金で立て替え払いしていたが、本店は、未処理であった。

[本支店合併後の貸借対照表]

貸 借 対 照 表
金沢商店
令和〇年12月31日

資 産	金 額	負債・純資産	金 額
現 金	()	支 払 手 形	2,113,000
当 座 預 金	2,913,000	買 掛 金	1,674,000
売 掛 金	()	資 本 金	4,890,000
商 品	1,390,000	当 期 純 利 益	(ア)
備 品	2,420,000		
	()		()

2

次の取引を特殊仕訳帳としての当座預金出納帳と売上帳および補助簿としての商品有高帳に記入し、総勘定元帳と売掛金元帳に転記しなさい。

- i 総勘定元帳への転記は、特殊仕訳帳から直接おこなうこと。
- ii 特殊仕訳帳および商品有高帳は、月末に締め切るものとする。
- iii すでに記入してある取引も転記すること。
- iv 総勘定元帳と売掛金元帳の記入は、日付と金額を示せばよい。
- v ほかに特殊仕訳帳として、現金出納帳と仕入帳を用いている。
- vi 商品有高帳の記入は先入先出法によること。

取 引

／月／4日 東京商店に次の商品を売り渡し、代金は掛けとした。
 A 品 500個 @ ¥3,100 ¥1,550,000
 16日 東京商店に売り渡した上記商品のうちに品違いがあったので、次のとおり返品された。
 A 品 20個 @ ¥3,100 ¥ 62,000
 20日 千葉商店に次の商品を売り渡し、代金は同店振り出しの小切手で受け取り、ただちに当座預金とした。
 A 品 350個 @ ¥3,100 ¥1,085,000
 23日 東京商店に対する売掛金 ¥930,000 を同店振り出しの小切手で受け取り、ただちに当座預金とした。

3

次の各問いに答えなさい。

- (1) 豊橋商店（個人企業）の本店・支店の損益計算書（付記事項反映前）と付記事項および本支店合併後の損益計算書によって、次の金額を計算しなさい。ただし、付記事項反映前の本店における支店勘定の残高は ¥1,140,000（借方）、支店における本店勘定の残高は ¥1,070,000（貸方）である。
- a. 支店勘定残高と本店勘定残高の一致額 b. 本支店合併後の広告料（アの金額）

本店 損益計算書

令和〇年 / 月 / 日から令和〇年 / 2月 3 / 日まで

費用	金額	収 益	金額
期首商品棚卸高	2,100,000	売 上 高	8,600,000
仕 入 高	6,580,000	期末商品棚卸高	1,700,000
売上総利益	1,620,000		
	10,300,000		10,300,000
給 料	610,000	売上総利益	1,620,000
広 告 料	250,000	受取手数料	32,000
減価償却費	145,000		
当期純利益	()		
	1,652,000		1,652,000

支店 損益計算書

令和〇年 / 月 / 日から令和〇年 / 2月 3 / 日まで

費用	金額	収 益	金額
期首商品棚卸高	580,000	売 上 高	4,380,000
仕 入 高	3,785,000	期末商品棚卸高	640,000
売上総利益	655,000		
	5,020,000		5,020,000
給 料	270,000	売上総利益	655,000
広 告 料	80,000	受取手数料	3,000
減価償却費	55,000		
当期純利益	253,000		
	658,000		658,000

付記事項（2月3日における本支店の取引）

- ① 支店は、本店が2月29日に送付していた商品 ¥70,000（原価）を受け取ったが、支店では未処理である。
- ② 支店で本店の買掛金 ¥60,000 を現金で支払った。本店は、その報告を受けた。
- ③ 本店で支店受取分の手数料 ¥4,000 を現金で受け取った。支店は、その報告を受けた。
- ④ 支店で本店の広告料 ¥30,000 を小切手を振り出して立て替え払いした。本店は、その通知を受けた。

[本支店合併後の損益計算書]

損 益 計 算 書

豊橋商店 令和〇年 / 月 / 日から令和〇年 / 2月 3 / 日まで

費用	金額	収 益	金額
期首商品棚卸高	2,680,000	売 上 高	12,980,000
仕 入 高	()	期末商品棚卸高	2,410,000
売上総利益	()		
	15,390,000		15,390,000
給 料	880,000	売上総利益	()
広 告 料	(ア)	受取手数料	()
減価償却費	200,000		
当期純利益	()		
	()		()

2

次の取引を特殊仕訳帳としての当座預金出納帳と仕入帳および補助簿としての商品有高帳に記入し、総勘定元帳と売掛金元帳・買掛金元帳に転記しなさい。

- i 総勘定元帳への転記は、特殊仕訳帳から直接おこなうこと。
- ii 特殊仕訳帳および商品有高帳は、月末に締め切るものとする。
- iii すでに記入してある取引も転記すること。
- iv 総勘定元帳・売掛金元帳・買掛金元帳の記入は、日付と金額を示せばよい。
- v ほかに特殊仕訳帳として、現金出納帳と売上帳を用いているが売上帳からの売掛金勘定への合計転記について考慮外とする。
- vi 商品有高帳への記入は移動平均法によること。

取 引

1/月/6日 大熊商店から1/5日に仕入れた商品について、不良品があったので、次のとおり値引きを受けた。なお、この代金は買掛金から差し引くことにした。

A 品 50個 @¥260 ¥13,000

1/19日 宮川商店に次の商品を売り渡し、代金は掛けとした。

A 品 500個 @¥3,400 ¥1,700,000

2/25日 佐多商店から次の商品を仕入れ、代金のうち¥480,000は小切手を振り出して支払い、残額は掛けとした。

A 品 500個 @¥2,896 ¥1,448,000

2/28日 福井商店に対する売掛金¥640,000が、当店の当座預金に振り込まれたとの連絡を取引銀行から受けた。

3

次の各問いに答えなさい。

(1) 支店会計が独立している清水商店（個人企業）の下記の資料によって、次の金額を計算しなさい。

- a. 支店勘定残高と本店勘定残高の一致額 b. 支店貸借対照表の商品（アの金額）

資 料

本店 貸借対照表
令和〇年12月31日

資 産	金 額	負債・純資産	金 額
現 金	685,000	支 払 手 形	540,000
当 座 預 金	2,210,000	買 掛 金	1,647,000
売 掛 金	1,872,000	資 本 金	4,000,000
商 品	580,000	当 期 純 利 益	938,000
備 品	700,000		
支 店	1,078,000		
	7,125,000		7,125,000

支店 貸借対照表
令和〇年12月31日

資 産	金 額	負債・純資産	金 額
現 金	246,000	支 払 手 形	420,000
当 座 預 金	()	買 掛 金	887,000
売 掛 金	513,000	本 店	824,000
商 品	(ア)		
備 品	230,000		
当 期 純 損 失	()		
	2,131,000		2,131,000

付 記 事 項

- ① 支店は、本店が支店に送付していた商品 ¥82,000（原価）を受け取った。
- ② 支店で本店の買掛金 ¥156,000 を現金で支払っていたが、本店は、未処理であった。
- ③ 本店は、支店受取分の手数料 ¥39,000 を現金で受け取っていたが、支店は、未処理であった。
- ④ 支店で本店の従業員の旅費 ¥55,000 を現金で立て替え払いしていたが、本店は、未処理であった。

[本支店合併後の貸借対照表]

貸 借 対 照 表
清水商店
令和〇年12月31日

資 産	金 額	負債・純資産	金 額
現 金	931,000	支 払 手 形	960,000
当 座 預 金	2,867,000	買 掛 金	()
売 掛 金	()	資 本 金	()
商 品	982,000	当 期 純 利 益	()
備 品	930,000		
	()		()